

分はこだわったそうです。和島監督自身は子どもに対して「ありがとう」と言うことは水臭いと思っていたようです。加賀さんと同じような世代の母親との取材の際、シナリオを読んで頂いた際に、この映画には「ありがとう」という言葉が出てこないと指摘をされ、日常的に使われていることに気づいたそうです。親の心情として、子どもが育っていくのに伴い、一緒に乗り越えてきたということを振り返り、日常のありふれた毎日こそが人生の宝物だというメッセージだと感じました。

次に自閉症の息子さん役の塚地さんとのエピソードについてもありました。撮影に入る前にプロデューサーからの提案で、配役が決定した後に和島監督と塚地さんの2人でグループホームに見学に行ったようです。障がいのある人と同じ空間を共にし、塚地さんの様子を見たところ、利用者さんの独語の背景を知ろうとする注意深く観察をしている姿勢があったようです。塚地さんは映画を通じて当事者さんやご家族に見られると考え、演じるうえで相当なプレッシャーがあったようで試写会が終わった際には、ほっとしていた様子だったようです。

また、映画の制作秘話のお話もありました。和島監督として、梅の木を切らざるを得ない現実を伝えていけないところが、こだわりシーンだったようです。当初は梅の木を移植するラストシーンを想定していましたが、加賀さんにシナリオを渡したところ、自分の人生が否定されているようだと言われ、自分の人生を重ねようとしていたと思ったそうです。映画のセオリーとしては、最初と最後で主人公の変化がありますが、加賀さんと話しをするうちに、周囲の変化につながるようなものにしたいと思ったそうです。「共に生きる」ということを考えた際、障がいのある人が社会と接する時に無理解や確執がありますが、ご家族としては、これまでは社会に迷惑をかけないように順応するようにしていましたが、ここ最近では社会が合わせていくという考え方になっており、加賀さんは映画を全て見終えた後のことまでも考えていたように感じたとのことでした。

和島監督の印象的なエピソードとして、加賀さんの要望があった「ありがとう」のセリフをいれるシーンは、撮影中に何度もシナリオを修正して挑んだようです。主人公2人が一番落ち込んでいるシーンの中で、廃品回収の「壊れていても構いません」の音が入っているそうで、その中で「ありがとう」のセリフを入れ込んでいるとのことでした。

最後に聴き役であった野沢氏から、「梅切らぬバカ」は近年の障がい者を描いた作品に無い、日常をたんと描いたように感じたと言いました。育成会も理解を広げていくためには、制度法律だけでは届かないところもあるので、人のこころの中を変えていくためには、映画やドラマの持っているソフトパワーを大事にしていくべきと感じたことから、文化芸術を通じて障がい理解を広めていくことが必要であるとまとめ、対談は終了しました。

## 「第2分科会 自分らしく地域で豊かに暮らす」

理事長 長谷川 美智代

地域生活がテーマの第2分科会では、最初に社会福祉法人はるにれの里 理事長 加藤潔氏による「自分らしく地域で豊かに生活する」と題したタイトルで基調講演がありました。はるにれの里は北海道にあり、「どんなに障がいが高くても地域で暮らす」を目標に、ライフステージを見通した支援としくみづくりで、生涯にわたって暮らしを支える事業運営をされています。強度行動障がいのある重度の方々の地域生活支援にもご尽力されている加藤氏ですが、地域での安心した生活を送るためには、生活の場が整っていることと安定した支援が整っていることが基盤となると話されました。まず、生活においては「くらし」「しごと」「よか」の場があること。そして、それぞれの場が、幸せだと思える暮らしや充実した日中活動、楽しむ活動や生きがいを実現する場となっていることが大切です。また、この中でも「よか」を上手く過ごせることは、ものすごく大事なことで、仕事ができるよりも余暇をすごせる人の方が、大崩れしないというのが加藤氏の理論だそうです。更に「くらし」「しごと」「よか」に加えて、「収入」と「地域住民」の2点をあげられ、自分で稼いだ収入(給料、工賃、年金等)で暮らすことや地域住民の理解や良い関係を築くことも大事なポイントだと言われました。次に、大事にしたい支援のスタンスとして、できる限り特性を把握し、その特性に合わせた環境を用意することや自分で決められるように適切な選択肢を用意すること等をあげられていました。「何を選んでもそこそこ幸せ」というのが、適切な選択肢だそうで、本人が何を選んでもそこそこの幸せが保証されるので、本人の決定に任せることができます。言い換えれば、適切な選択肢を用意できない時、例えば人生の大きな方向性を決める場合などは、本人の思いを想像しながらその決定を代行する「代行的意思決定」を採用することに